

# 回覧 地域再生 協議会だより

事務局 百合が丘 2 - 29 - 6 (百合が丘老人憩いの家) 59 - 9356 (火、金午前)

## ワークショップ、相次ぎ開催

### 若手・女性の意見を吸収・反映へ

### 1 回目は 1 / 29 (日)、児童館で

一色小学区地域再生協議会は来年 1、2 月にかけて住民参加型のワークショップを相次ぎ開催する。来年度から新たに取り上げるプロジェクトテーマに関する意見交換と、再生協議会の活動報告が狙い。第 1 回は百合が丘児童館、第 2 回は町民センターで行う。特に一色小学校区を対象にした第 1 回では、これまで議論や活動に参加していない女性や若者などにも参加を呼びかけ、住民の総意を反映した計画づくりにつなげたい考えだ。

このほど固まったワークショップの日程は、第 1 回が 1 月 29 日 (日)、第 2 回が 2 月 22 日 (水)。第 1 回では来年度からの新規プロジェクト案に内定した一色小の地域交流拠点化、魅力ある地域公園、里山遊歩道整備の 3 テーマを意見交換のベースにする。会合では、この 3 テーマ案への意見だけではなく、新たなテーマ提案も募りたいとしている。

開催日は若い子育て世代や女性、地域外通勤者等が参加しやすい休日に設定した。このほか、子供会、PTA、サークル活動家や地域団体の新旧役員、地域行事への参加経験者など幅広い参加を見込む。併せて各部会、新規プロジ

ェクトへの参加を促す。

第 2 回目は、今夏発足した再生協議会の活動報告と今後の活動についての意見交換に主眼を置く。発足から間もないうえに、活動内容の情報発信も十分でないことからこの組織についての認知度も低く、参加者のすそ野も必ずしも広がっていない。このため、すでにスタートずみの友情の山、地域福祉、県公社、ふるさとの家、文化イベントの 5 つの部会の活動紹介をもとに、少子高齢化、人口減、コミュニティ活動のあり方などについて自由に意見を交わす場にしたい考え。開催場所を町民センターにするのは、一色小学校区以外の住民、関係者が参加しやすくするためとしている。

## 大盛況！音楽祭り



桑田葉子さんらによるミニコンサート

(裏面に詳細)

ワークショップは地域内のさまざまな立場の人材が参加して地域社会の課題解決に取り組む手法の一つ。住民参加型まちづくりなどによく採用されている。再生協議会では、1、2回とも4、5テーブルの議論の場を設け、数十人の参加を見込んでいる。

# 音楽祭りに 400 人の入場者

## 予想上回る盛上りに

10月30日（日）に開いた再生協議会主催（百合が丘自治会共催）の「一色小で音楽祭り」は、会場の体育館がほぼ満員になる盛況ぶりだった。入場者は約400人。ステージに最も近い場所には子供たちが座って鑑賞できるスペースが設けられ、奏者を間近に親子100人以上が楽しんだ。椅子席は体育館の在庫の全部350脚を用意したが、ほぼ埋まり、立ち見の方も出た。無料公演のため参加人数を予測できないまま当日を迎えただけに、予想外の盛況ぶりに多くの関係者が喜んでいて、当日の様様を写真で拾った。



ほぼ満席に埋まった体育館



子供たちは最前列に



熱唱する一色小OB「ふたり」 岡村会長の主催者あいさつ



最後に登場した神奈フィル四重奏



ステージと会場が一体になって



開演前から人の流れができた